



11月の園だより

令和6年11月1日
目黒区立不動保育園園長

今年の運動会は初めて不動小学校の体育館をお借りして行いました。ケガも無く沢山の応援をいただきながら予定通り開催することが出来ました。子どもたちは慣れない場所に緊張している様子も見られましたが、たくさんの保護者の皆様に観ていただけることを喜び、練習以上の力を発揮して頑張っている姿はとても嬉しそうでした。後日、5歳児にあこがれる3.4歳児はホールで縄を持ちだし、縄跳びを跳んだり、ソーラン節をみんなで踊る姿がありました。そんな姿を見ると子どもたち各々心に残る運動会になった様子が伺えます。保護者の方からも「オープニングが良かった」「体育館の舞台上で踊る姿が良かった」「体育館での暑さ対策に安心でした」等の声をいただきました。子どもたちは一つ行事を乗り越えたことで自信を付け次の行事に取り組みます。一つひとつの経験が子どもたちの力になるように今後も進めていきたいと思えます。保護者の方々のご理解、ご協力、沢山の心地よい応援本当にありがとうございました。

春に向けて林試の森公園にて管理事務所の方たちと一緒にチューリップの球根を3.4歳児クラスが植えます。進級したら「きれいな花が咲く」と楽しみに、水をあげたり、観察をしたりしながら子どもたちと見守っていきたく思います。場所が決まりましたらお知らせ致します、公園に遊びに行った時にはお子さんと一緒に観察してみてください。



今月の予定

焼き芋会 3.4.5歳児
交通安全教室 4.5歳児
歯科検診 全園児

中旬 身体測定
避難訓練



冬の子ども会のご案内

9:15~12:00 予定

クラス入れ替え制で3.4.5歳児の表現発表会を行います。
お忙しい時期とは思いますが、保護者の皆様の参観をお待ちしています。開催方法など詳細につきましては、後日お知らせいたします。

～ 林試の森公園 散歩の様子 ～



スラン組の0歳児



公園の草むらにある木の陰から子どもに「いないいないばあ」と笑いかけると、満面の笑みを浮かべ保育士のもとへ駆け寄ってこようとします。しかし、草の手前まで来ると足元を見てその場で前に進めずにいます。もう一度、顔を出して「おいで」と声をかけても動きません。どうしたのかなと様子を見てみると、膝丈ほどの高さの草をどのように進んでよいかわからず、その場で困っていたようでした。保育士が近づき草をかき分けると、そうやって進むのねと、すぐに足元を見ながら「よいしょ」と足を上げ、なんとか草むらを歩くことができました。子どもたちと同じ目線になり気持ちに気づき自然の中の発見を一緒に楽しんでいきたいと思えます。

チューリップ組・1歳児

手を繋いで散歩に出かける意識が少しずつ出てきた子どもたちは、散歩に行くことを伝えると嬉しそうに出かける準備をします。公園での子どもたちは発見王になったかのように、いろいろな所でしゃがみ込み小さな手にぎゅっと宝物を握りしめ保育士のもとへやってきます。その手からは、小さな木の実、どんぐりや小石が出てきます。それぞれ興味あるものを見つけては“みつけたんだよ”と目を輝かせながら保育士に見せています。「すごいね」「みつけたんだね」と声を掛けられ、さらに得意気な表情をしています。また、保育士が木の根元を指さし「恐竜の足みたい」と言うと、別の木の根元を指さし「こっちにもいたよ」と教えてくれます。これからも子どもの発見やイメージを大切にしながら共感して一緒に楽しみ、イメージが広がるようにしていきたいと思います。



タンポポ組・2歳児

散歩先で、保育士が蝶々を見つけると子どもたちも「どこどこ」と集まってきます。網を持った保育士が「しー」と指を口に当てながらそっと進むと、子どもたちも同じように「しー」と真似をして歩き、声をひそめて様子をじっと見ている。蝶々が取れると嬉しそうに「先生見せて」と保育士の周りに集まります。ひとりの子が「触ってみたい」と手を差し出したので手のひらにのせてみると、表情がぱあっと明るくなり笑顔になりました。その様子を見てほかの子も「私も持ってみたい」と手にのせてもらい「くすぐったい」と感触を楽しみ、動く蝶々に驚きぱっと手を離してしまう子もいたり、様々な姿が見られました。これからも色々な植物や生物に触れながら、親しんでいきたいと思います。

コスモス組・3歳児

春から異年齢活動に力を入れてきたことで、お互いに名前を覚え、異年齢で手を繋いで散歩に出かけることを喜んでいきます。散歩先でも4.5歳児クラスの遊びに参加しようとする姿が出てきました。鬼ごっこではつま先を突き合わせ、鬼決めの輪の中に入ったりしながら、交流を深めています。まだ氷鬼のルールがよくわかっておらず、助けてもらう前に氷から勝手に溶けて動き出してしまったり、捕まりそうになると「待って待って」と捕まらないようにゲームを止めてしまう姿はありますが一緒に遊べることを楽しんでいます。これから、秋の自然物とたくさん出会える時期になってくるので、鬼ごっこだけではなく探索など自然とも関わりながら散歩を楽しんでいきたいと思います。



芋ほり遠足に
行ってきました

マーガレット組・4歳児

ヒマワリ組・5歳児



埼玉県川越市まで芋掘り遠足に行ってきました。5歳児クラスは去年の記憶を思い出しながら「バスがここに着いて～、ここで掘るんだよね、お弁当はここ！」と芋畑の地図を見ながら嬉しそうに話していました。初めて芋ほり遠足へ行く4歳児クラスは「どうやって掘るんだろう？」「シャベルで掘るのかな」とつぶやいていると5歳児クラスの子から「手で掘るんだよ。」と教えられます。「えっ」と、驚きながらも「100本掘りたい！」「そんなに掘れないよ、ほんと大変だから！」など、ほのぼのとする会話も聞かれました。当日は行きのバスから雨足が強くなってきて天気が心配されましたが、掘っている間は雨があがり掘ることができました。「ここが硬くて掘れない」という子がいると、隣にいる子が「手伝ってあげる」と一緒にレインコート姿で頭を突き合わせながら掘る後ろ姿がとても可愛かったです。つるにたくさん芋がついてくると、「お芋の家族だ！」「3つ子だ！」「1. 2. 3. 4…これは7つ子だ！」と、まさに芋づる式を体験してとても嬉しそうでした。今度の焼き芋会や給食で食べるのを楽しみにしています。